

暑熱対策は早めの準備を！

気象庁が発表した夏の天候の見通しによると、東日本太平洋側の平均気温は平年並みか高い見込み、降水量は平年並みか多い見込みとのことです。

つまり、今年の夏は蒸し暑くなる可能性が高く、今から暑熱対策を行い、牛が快適に過ごせる環境を整えましょう。

《暑熱対策のポイント》

(1) 直射日光の遮断

- ・よしずや寒冷紗等を利用して、直射日光や反射光を防ぎましょう。
- ・今年の夏には間に合いませんが、植樹により木陰を作るのも良いでしょう。

(2) 断熱

- ・天井、屋根、壁への断熱材の使用。
- ・屋根に石灰を塗布、スプリンクラー等による散水。



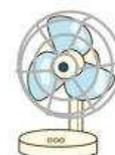
(3) 通風・送風・細霧装置

- ・扇風機や送風ダクトを使用して通風・換気を行い、温度や湿度を下げましょう。
- ・舎内に霧（ミスト）を噴霧し、気化冷却により舎内温度を下げる方法もあります。

プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、隙間にホコリが溜まります。湿気を吸収して電流が流れることで発火することがありますので、時々点検しホコリを掃除しましょう。また、タコ足配線、配線器具の老朽化などにも注意が必要です。

(4) 給水・給餌

- ・冷たく新鮮な水が飲めるようにしましょう。
- ・飼槽内は腐敗しやすいので、清潔に保ちましょう。
- ・早朝や夕方の涼しい時間帯に給餌しましょう。
- ・消化の良い良質な乾草を給与し、ビタミンやミネラルの補充を行いましょう。



(5) 牛体の毛刈り

- ・毛刈りは簡単で費用のかからない対策のひとつです。毛を刈ることで体表からの熱の放散がスムーズになります。

暑熱を原因とする分娩事故や繁殖障害、乳房炎などの発生が心配されます。上記の例を参考にできることから実行してください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄345 TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679